

第 1 回神奈川県抗原検査キット適正使用推進協議会 次第

日時 令和 3 年10月 7 日（木）
18時30分～20時30分
会場 県庁西庁舎 6 階 災害対策本部室
（原則ZOOM出席とする）

1 報告事項

- ・神奈川県での抗原検査キットの取組みについて

2 議題

- （1）抗原検査キットへのアクセシビリティ確保
- （2）抗原検査キット利用者の医療連携支援
- （3）抗原検査キットの精度管理

3 その他

<資料>

第 1 回神奈川県抗原検査キット適正使用推進協議会資料

第1回神奈川県抗原検査キット適正使用推進協議会 参加者名簿

(五十音順)

NO	区分	氏名	所属団体・機関及び職名	会場出席
1	薬剤師会等	小川 護	公益社団法人神奈川県薬剤師会 会長	
2		長津 雅則	公益社団法人神奈川県薬剤師会 副会長	
3		松下 潤	一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 神奈川県支部	
4		川久保 篤	一般社団法人日本保険薬局協会	
5		田中 大嗣	一般社団法人日本薬局協会の会神奈川支部	
6	医師会等	笹生 正人	公益社団法人神奈川県医師会 理事	
7		太田 史一	公益社団法人神奈川県病院協会 常任理事	
8	製造事業者	丹生 重光	アドテック株式会社 信頼性保証部 部長	
9		大野 雅範	アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社 感染症領域マーケティング部 部長	
10		島田 浩一	アルフレッサファーマ株式会社 代表取締役社長	
11		金山 省一	キヤノンメディカルシステムズ株式会社 迅速検査ソリューション事業推進部 部長	
12		早川 哲二郎	コージンバイオ株式会社 営業第一部微生物プロダクトマネージャー	○
13		麻生 秀明	種水メディカル株式会社 検査事業部 国内営業部 首都圏第四営業所 所長	
14		岩瀧 拓也	セルスペクト株式会社 代表取締役兼CEO	
15		中川 浩史	株式会社タウンズ エリアマネージャー	○
16		八木 匡一	デンカ株式会社 ライフイノベーション部門ワクチン診断薬事業本部国内試薬部部長	
17		黒板 敏弘	東洋紡株式会社 診断システム事業部 事業部長	
18		坂本 致誠	株式会社ニチレイバイオサイエンス 迅速診断薬事業グループリーダー	○
19		山本 正浩	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 インダストリアルマイクロバイオロジー & POC インテグレイテッド ダイアグノスティック ソリューションズ事業部 部長	
20		中村 健太郎	富士フィルム株式会社 メディカルシステム事業部IVDイノベーション部 マネージャー	
21		藤田 健	富士レピオ株式会社 代表取締役社長	
22		室井 邦彦	株式会社マルコム 営業部 次長	
23		市丸 和広	株式会社ミズホメディー 知的財産部 取締役部長	
24		加藤 啓介	ルミラ・ダイアグノスティクス・ジャパン株式会社 代表取締役社長	○
25		高橋 裕美	ロート製薬株式会社 広報・CSV推進部 東京グループリーダー	
26		清水 良輔	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社	○
27	白井 晶子	SBバイオサイエンス株式会社 副部長		
29	厚労省	習田 由美子	厚生労働省医政局看護課 看護サービス推進室長	
30		高城 亮	厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部検査班 参事官	
31		小野田 知子	厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部検査班 調整官	

○神奈川県

NO	氏名	職名
1	黒岩 祐治	知事
2	首藤 健治	副知事
3	山田 健司	健康医療局長兼未病担当局長
4	阿南 英明	医療危機対策統括官兼理事
5	畑中 洋亮	医療危機対策統括官兼政策局顧問
6	篠原 仙一	医療危機対策本部室長
7	杉山 力也	未来創生担当部長

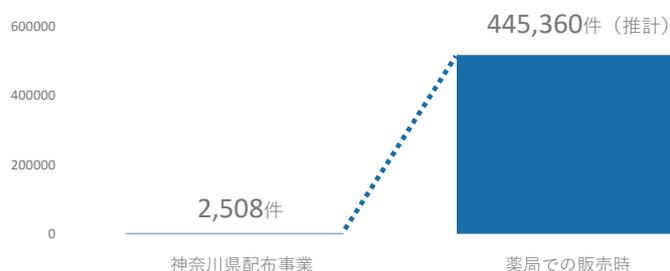
本日のアジェンダ

1. 抗原検査キットへのアクセシビリティ確保
2. 抗原検査キット利用者の医療連携支援
3. 抗原検査キットの精度管理

12

2-1 神奈川県のコールセンター架電件数

県の配布事業 **445,360**セットを配布 → コールセンターに**2,508**件の相談あり
(~9/30)
神奈川県民 **9,200,000**人が購入 → コールセンターに **400,000**件以上の相談？



メーカーで連携してキット利用者向けの
コールセンターを設置してほしい

18

2-2 検査キット製造会社による合同団体設置の提案



- 抗原検査キットを利用し、結果が陽性だった**使用者**から、**抗原検査キット相談センター**（仮称、以下「**相談センター**」という）に相談が入る
- **相談センター**が、**使用者**に最寄りの**受入協力医療機関**を紹介する
- **神奈川県**は、県内の受入協力医療機関のリストの情報を定期的に収集し**相談センター**に提供する
- **LINEパーソナルサポート**での受入協力医療機関リストの案内も検討する

19

2-3 利用実態把握基盤の整備



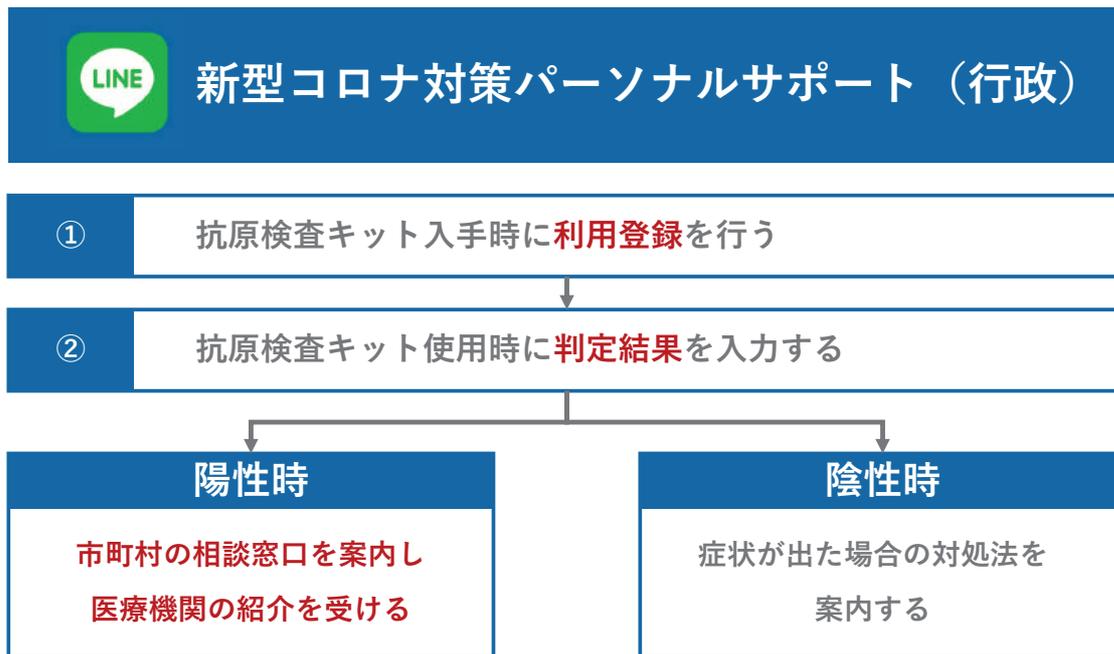
- 陽性が判明した利用者に対して受入可能医療機関を紹介する等、**利用者のフォローアップをする仕組み**が必要
- 未知の変異が発生した場合等、抗原検査キットそのものの有効性が担保されなくなった際に、**利用者にいち早く利用上の注意を発信できる仕組み**が必要



メーカーで連携してキット利用者とつながる仕組みを構築してほしい

20

2 - 4 利用実態把握基盤の整備-神奈川県の場合



21

3 検査結果の信頼性の担保

検査結果の信頼性は、次の関係であらわされる

検査結果 = 精度 × 正確性・適正利用

特に**正確性・適正利用**を担保するためには、

本人確認 + **陰性確認** が肝要である



メーカーで連携して検査結果の**正確性・適正利用**を担保する仕組みを構築してほしい

23